



訪問しました!

こうべ男女いきいき事業所

シスメックス株式会社

今回は、平成20年度の「こうべ男女いきいき事業所」として表彰されたシスメックス株式会社を訪ねました。多様な人材が安心して働ける職場を目指して、社員一人ひとりの健康と安全に配慮し、仕事と家庭の両立を支援する制度を充実させている同社。年々拡充させてきたさまざまな支援制度と、“働くママ”としてワーク・ライフ・バランスを実践する女性社員の現状についてお聞きしました。

人事部労務政策課長 原 英敏さん
人事部労務政策課労政企画係長 林 譲治さん
人事部人事課人事係 福本祐子さん



右から原英敏さん、林譲治さん、福本祐子さん

女性従業員の活躍をしっかりサポート

血液や尿、細胞などを採取して調べる検体検査を事業の柱とするシスメックス株式会社。医療の高度化が進むなか、検体検査に特化した製品とサービスで急成長を続ける同社は、会社の発展とともに働きやすい職場づくりにも力を入れてきました。

「従業員の女性の比率が高まり、とくに当社の要である研究開発部門でも女性研究者の割合が増えているため、仕事と家庭の両立支援は非常に重要です。安心して勤められるよう、さまざまな制度を整えています」と課長の原英敏さん。

昨年5月には、育児のための休業期間を「満1歳になるまで」から「満2歳になるまで」に延長したのをはじめ、勤務時間短縮も「就学するまで」から「小学校3年生を終えるまで」に延ばすなど、大きな制度変更を行いました。

「保育園への入園が年度途中からでは難しい、小学校低学年までは子どもが早く家に帰ってくる…といった育児の実情を踏まえて改定しました。子どもが小さな間はできるだけ長く一緒に過ごしてもらおうというのが基本的な考え方ですね」と、原さんは変更のねらいを話します。

今年4月には、神戸市西区に立地する同社の研究開発拠点「テクノパーク」に企業内託児所もオープンします。父母のいず



れかが従業員なら、生後6カ月から就学まで一般の認可保育所より割安な保育料で預けることができる環境が整います。

社員も家族も健康で充実した毎日を

ワーク・ライフ・バランスを目的に20項目以上のメニューから育児支援や介護支援が受けられる「カフェテリアプラン」も好評です。

「とくに利用が多いのが保育料やベビーシッター料の補助。「働くお母さん」はもう珍しい存在ではなくなりましたね」と、係長の林譲治さんは話します。

その一人でもある人事課の福本祐子さん。育児休業を1年間取得し、昨年7月に職場復帰しました。10年前の入社当時は、結婚・出産で退職する先輩社員も少なくなかったそうですが、年々会社の制度が充実していき、仕事を続けることのできる社員も増えています。「女性が働き続けやすい環境が整って、周りもそれを応援する雰囲気になりました。入社して3年目頃には、これなら続けられそうだなと思うようになりました」と福本さんは話します。

復帰後は、2時間の勤務時間短縮制度を利用して午後3時35分には退社しています。お子さんを保育園に迎えに行って帰宅する午後5時以降は親子の時間をゆっくり過ごしています。「復帰前は不安もありましたが、いざ戻ってみると意外に両立できるというのが実感です。充実した毎日ですね」と福本さん。こうした声が着実に積み重なっていることで、後に続く人も安心して休業・復帰できるようです。

以前から、長時間労働の防止や充実した内容の健康診断、心の健康相談、配偶者への健康補助など、社員とその家族の心身の健康維持に積極的に取り組んできた同社。世界の健康と医療を支える企業として、一人ひとりの従業員が仕事だけでなく育児や介護を含めた生活全般を充実させられる働き方を発信しています。